

どうされましたか？
マスター…
夜更けに私の部屋に
いらっしやるなど…

そうですか…
それは怖い夢を
見てしまい
ましたね…

(震えている…
無理もない
年端もいかないうちから
人類最後のマスター
という重責を
抱えているのだ…)

…マスター
もし寝付けない
というのであれば
私にお任せいただけ
ませんか？

辛い事、苦しい事から
今だけは忘れさせて
あげられるかと思
いますか…

ええ、お任せを…
ただし皆には内緒に
してくださいね

さあベッドに
横になって
ください…
❤

マスターはやはり
経験がありません
でしたか…

ご覧下さい
マスターのおちんちんが
私のおまんこに
挿入っていく様を…♡

人はこのようにして
子を作り繁殖して
きたのです

これも人理の
一つの形なのです
マスターとして
目を逸らさないで
下さい♡



では挿入れていきます♥
怖がらなくてよいのです
マスターはおちんちんに
集中していてください♥

あつ♥ああ♥

硬く熱いマスターのが
私の膣壁を割って
進んできています♥

これで半分くらいですね
このまま根元まで
啜え込ませて頂きます♥

おちんちん



ん…ほお♡

感じられますか

マスター

あなたのおちんちんを
私の肉が包んでいるのを♡

「おちんちんが
溶けちゃうみたい」？
ふふふ…面白い表現ですね♡

でもこれからが本番です♡
私の肉襲と騎乗スキルを
存分にお楽しみ下さい♡♡♡

ちゅ

ゅ

ぽ

…

ん

んっ♡
んっ♡
んっ♡

どうやら私達は
肉体の相性も
よいようです♡

マスターをお慰め
するつもりが
肉欲に負けそうに
なってしまうとは♡♡♡

?
マスター?

ああ…♡
そのおしっこは
よいのです♡
私のおまんこも
そのおしっこを飲みたくて
パクパクしていますから♡♡♡

だからガマンせぬで
このまま…♡♡♡

バクッ♡

バクッ♡

バクッ♡

バクッ♡

バクッ♡

お疲れ様でした
マスター♡

不安な気持ちを
少しは拭きましたか？

どろろ

あっ…
ヨダしを垂らして
眠られましたか…
心安らいたのであれば
よかったです…

もしまた眠れぬ夜が
訪れたら
いつでもいらしてください
この肉体であなたを
癒して差し上げましょう
…♡♡♡

ぷぷ

ぷぷ

びく

びく











